事例No.	2204
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都中野区

事例区分	公会計

タグ	・セグメント分析 ・情報公開 ・公共施設活用

事例種類	施設別セグメント分析

事例内容・タイトル

セグメント分析取組事例①

出典

地方公会計に関する取組事例集

セグメント分析取組事例①（東京都中野区）

分析の目的

〇住民や議会に対するアカウンタビリティの充実や決算の見える化（施設の状況把握や施設マネジメントとして活用）を目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

事例概要

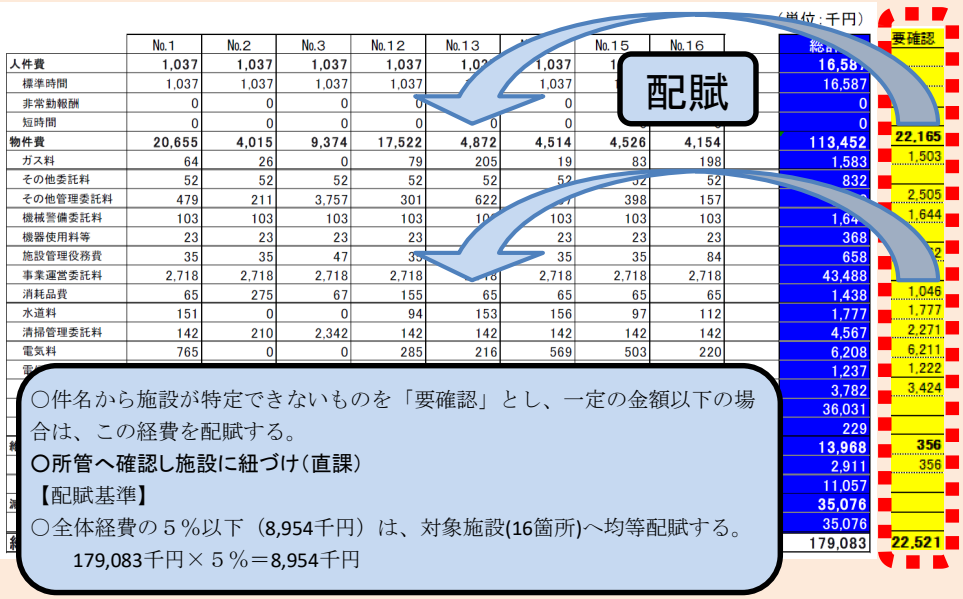
〇財務書類作成にあたり、計上する項目等を詳細にせず、担当者が代わっても継続的に作成できるよう、簡易な方法とした。

〇有形固定資産減価償却率を把握することが主目的であるため、当該指標に関する勘定科目以外計上しない。
資産は、固定資産台帳と執行データを確認し、計上。

〇人件費、物件費は節区分で分かる範囲、減価償却費を計上。
物件費は、歳出執行データを予算科目によって絞り込んだ上で、施設名の関連するデータを抽出。
人件費は、行政評価で用いる「工数」に人件費標準額を乗じたもので算出。

・ 収益（使用料及び手数料）は、歳入執行データから特定することが困難なため、施設所管課へ確認。

【物件費に係る配賦のイメージ】



セグメント分析結果

〇施設ごとの老朽化の状況が明らかとなり、今後の修繕等の対応や活用について、検討するきっかけとなった。

今後の課題・展望等

〇取組では一部の施設のみでの分析を実施したが、今後、対象施設を拡充する予定（令和元年度は子ども関連施設を分析）。

〇執行データの件名から施設への紐付けが難しい場合や、執行データに資本的支出と費用計上するものが混在している場合など、所管部局への確認や固定資産台帳データとの突合が必要な場合がある。